

< 烏口上腕靭帯の機能解剖 >

[起始] 烏口突起の基部

[停止] 上腕骨の大結節・小結節

[構造] trapezoidal and bridge-like

[組織] not a ligament→capsular ligament

膠原線維が疎な配列で神経・血管・脂肪組織に富んだ組織

疎性結合組織に近く伸縮性に富むが、強度は低い膜状組織

[機能] 上腕骨頭の懸垂靭帯・下方脱臼防止

肩関節外旋運動のブレーキの役割

[緊張] 伸展・内転・外旋

[弛緩] 屈曲・外転・内旋

[位置] 滑液包に囲まれている

→烏口上腕靭帯の滑動性を円滑にする

→炎症が波及しやすい

[分布] 有髄神経線維 (SP・CGRP を含む) が存在

→過度の外旋運動を防止

→疼痛閾値が低い

[五十肩] 炎症を起こせば烏口上腕靭帯が腫脹し厚さが増す

炎症の軽快とともに腫脹も軽減し厚さも薄くなる

[五十肩の発症メカニズム]

肩峰下 impingement→肩峰下滑液包の炎症→烏口上腕靭帯の炎症→癒痕形成→外旋制限

(中野 1997)